

## 吃音とは？

言いたいことが思い浮かんでいても、なめらかにことばが出てこなかったり、ことばのリズムがうまくいかなくなる症状のことです。

育て方・性格・ストレスが原因ではありません。体質的要因の影響があるとされています。ことばが発達する2～5歳頃に、始まることが多いです。

## 吃音症状

吃音症状には、3種類あります。

連発 (繰り返し)	ことばの一部を繰り返す
伸発 (引き伸ばし)	ことばの一部を不自然に伸ばす
難発 (ブロック)	言いたいことばがあるのに、なかなか出てこない ※随伴症状が出る場合もあります

※随伴症状：話すときに、不必要に力が入ったり、動いたりすること

例：話そうとして顔をしかめる

手や足でことばを出すタイミングを取ろうとする

## 吃音症状の波

吃音は波があり、多いときもあれば、少ないときもあります。周りの大人が一喜一憂しないことが大切です。

大人は同じ態度で聞きましょう



話し方ではなく、  
話す内容に  
耳を傾けましょう



気になるとき や 悩んでいるときは、

医師や専門家（言語聴覚士）に  
相談しましょう

### 参考資料

発達性吃音の研究プロジェクト

「幼児吃音臨床ガイドライン第1版（2021）」

全国言友会連絡協議会「吃音リーフレット」

発行 令和7年3月

編集・発行元 世田谷区発達障害相談・療育センター

東京都世田谷区大蔵2-10-18

大蔵二丁目複合型子ども支援センター 2・3階

TEL 03-5727-2235（代表）

03-5727-2236（相談専用）

FAX 03-5727-2238

知ってほしい！発達障害（神経発達症）

きつ おん  
吃音

お、お、おはよう



繰り返し

あーりがとう



引き伸ばし

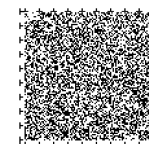
…ッ あ そ ぼ う



ブロック

吃音について理解し、  
適切に関わることで  
みんなが安心して過ごせる  
環境を作りましょう

世田谷区発達障害相談・療育センター  
「げんき」





# 「吃音のある人が、 話す意欲をなくさない」 ことが大切です。



## 関わるときの ポイント

### 話し方をからかったり、まねしない

からかう人がいたら、すぐにやめさせましょう。自分の話し方がいけないことだと思い込み、不安が強くなったり、話づらくなったりすることがあります。



### 話し方のアドバイスはしない

言いたいことの先取り、話し方のアドバイス、会話途中の質問、言い直しをさせることはやめましょう。

#### ×「落ち着いて。ゆっくり話してごらん」

焦りや緊張が吃音の原因ではありません。アドバイスをされても、話し方を変えることは難しいです。

#### ×「今は、どもっていないから大丈夫だよ」

吃音はいけないことだという意味に誤って伝わる場合があります。



吃音に悩んで、話すことが不安になったり、話すことを避けたりする場合があります。

本人が、自分の吃音について、周りの人にオープンに話せる関係を作っていきましょう。

「話しづらさについて、わかってくれる人がいる」と実感できることが、本人の安心感につながります。

### 話をさえぎらず、最後まで聞く

話を聞いた後に、「～だったんだね。」と話の内容をまとめて振り返りましょう。相手に伝わっている実感と、「吃音症状が出て、話していいんだ」という自信につながります。

### ゆったり聞いて、ゆっくり話す

- 話を聞いた後、一呼吸おいてから話しかける
- 聞き取りやすいスピードで話す

大人がゆったりとした態度で関われば、子どもは楽に、話しやすいになります。



### 短くわかりやすいことばで話す

- 「□と△、どっちがいい？」

指示は具体的に伝えましょう。選択肢を提示すると答えやすいかもしれません。



### 先生が周りの子どもたちに説明をするときに

事前に「どのように伝えてほしいのか」を、必ず本人・保護者と相談しましょう。



わざとではありません。  
言いたいことが  
言えるまで待ちましょう。

吃音は発達障害（神経発達症）、言語障害のひとつです。成長とともにすらすら話せるようになる人もいれば、症状が続く人もいます。

社会生活の困りごとについては、必要な支援や配慮を求めることができます\*。本人、保護者、所属機関と話し合いながら、一緒に対応を考えていきましょう。

※合理的配慮：誰もが平等に社会生活に参加できるように、周りの人がすべき無理のない範囲の配慮

### 合理的配慮の例



- 1 発表をするとき、本人が、他の人と一緒に声を合わせて話そうにした。



- 2 話すことが難しいときのために、先生と「今は当てないでほしい」という合図を決めておいた。



- 3 話し言葉以外の方法で、伝えられる方法や手段（タブレット・ノートなど）について、話し合い、活用した。

